

令和5年第6回東員町教育委員会会議録

東員町教育委員会

- 1 開 会 令和5年6月29日(木) 午前 9時30分
- 2 閉 会 令和5年6月29日(木) 午前10時50分
- 3 場 所 東員町総合文化センター 第1研修室
- 4 出 席 者 教育長 日置 幸嗣
教育委員(職務代理者) 向山 節雄
教育委員 三貫納 幸
教育委員 木村 陽一
教育委員 松宮 あけみ
<事務局> 事務局長 岡本 幸宏
教育総務課長 中村 幹人
学校教育課長 千坂 勝彦
社会教育課長 田中 豊
教育総務課副課長 吉田 尚生
教育総務課課長補佐 山中 剛
- 5 会 議 事 項 別紙のとおり

(別紙) 会議事項

1 開会の辞

(事務局長)

ただ今から、令和5年第6回東員町教育委員会を開会いたします。
それでは、教育長に進行をお願いいたします。

(教育長)

おはようございます。それでは教育委員会を進めさせていただきます。

2 前回会議録の確認

(教育長)

それでは前回会議録の確認をお願いいたします。

(社会教育課長)

資料6 ページ上段の委員の発言について、1,700円を1,700
万円に訂正願います。

(教育長)

会議録を訂正いたします。その他は何かよろしいでしょうか。なければ会議録を承認いただけますか。

(全委員)

<会議録を承認>

(教育長)

それでは会議終了後に署名をしていただきます。

3 事務報告、事務計画

(教育長)

事務報告、事務計画について説明します。

<以下、事務報告、事務計画資料により説明>

事務報告、事務計画について何か質問はございますか。なければ議事に移ります。

4 議 事

報告第 8 号 令和 5 年 6 月議会定例会の報告について

(教育長)

報告第 8 号、令和 5 年 6 月議会定例会の報告について、事務局の説明を求めます。

(事務局長)

報告第 8 号、令和 5 年 6 月議会定例会について報告します。

<以下、報告第 8 号資料により説明>

(教育長)

報告第 8 号について、何か質問はございますか。

(委員)

熱中症対策のところでスポットクーラーの話がでましたが、防災用ということで現状どれくらいのを町として保管していますか。

(教育総務課長)

小中学校の体育館が災害時の避難所に指定されており、防災担当がスポットクーラーやジェットヒーターなどを小中学校用に各 5 台ずつ備蓄しており、今後、配置する予定をしております。

(教育長)

他に質問はございますか。なければ、次の議案に移ります。

議案第 19 号 東員町奨学金の給付について

(教育長)

議案第 19 号、東員町奨学金の給付について、事務局の説明を求めます。

(教育総務課課長補佐)

議案第 19 号、東員町奨学金の給付について説明します。

<以下、議案第 19 号資料により説明>

申請のありました奨学金の給付を決定いたしたいと考えておりますので、ご意見賜りますようよろしくお願いいたします。

(教育長)

議案第19号について、何か質問はございますか。なければ、議案第19号を承認いただける方は挙手を願います。

(全委員)

<挙手>

(教育長)

議案第19号は、満場一致で承認されました。

議案第20号 令和5年度東員町教育予算（一般会計補正予算第3号）について

(教育長)

議案第20号、令和5年度東員町教育予算（一般会計補正予算第3号）について、事務局の説明を求めます。

(教育総務課長)

議案第20号、令和5年度東員町教育予算（一般会計補正予算第3号）について説明します。

<以下、議案第20号資料により説明>

(教育長)

何か質問はございますか。なければ、議案第20号を承認いただける方は挙手を願います。

(全委員)

<挙手>

(教育長)

議案第20号は、満場一致で承認されました。

5 その他

・後援について

(教育長)

後援第10号、令和5年度子どもと教育を考える集い 第63回東員町教育研究大会について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課長)

後援第10号、令和5年度子どもと教育を考える集い 第63回東員町教育研究大会について説明します。

<後援第10号資料により説明>

(教育長)

何か質問はございますか。なければ、後援第10号は後援させていただきます。続きまして、後援第11号、令和5年度三重県工業高校生フェア in 四工について、事務局の説明を求めます。

(社会教育課長)

後援第11号、令和5年度三重県工業高校生フェア in 四工について説明します。

<後援第11号資料により説明>

(教育長)

何か質問はございますか。なければ、後援第11号は後援させていただきます。続きまして、後援第12号、地域巡回コンサート2023について、事務局の説明を求めます。

(社会教育課長)

後援第12号、地域巡回コンサート2023について説明します。

<後援第12号資料により説明>

(教育長)

何か質問はございますか。なければ、後援第12号は後援させていただきます。続きまして、後援第13号、馬の教室について、事務局の説明を求めます。

(社会教育課長)

後援第13号、馬の教室について説明します。

<後援第13号資料により説明>

(教育長)

何か質問はございますか。なければ、後援第13号は後援させていただきます。続きまして、後援第14号、G l o w M i x ☆発表会2023 ～結(y u i)～について、事務局の説明を求めます。

(社会教育課長)

後援第14号、G l o w M i x ☆発表会2023 ～結(y u i)～について説明します。

<後援第14号資料により説明>

(教育長)

何か質問はございますか。なければ、後援第14号は後援させていただきます。

- ・東員第一中学校建設事業の進捗状況について

(教育長)

続きまして、東員第一中学校建設事業の進捗状況について、事務局の説明を求めます。

(教育総務課長)

東員第一中学校建設事業の進捗状況について説明します。

<資料により説明>

(教育長)

何か質問はございますか。

(委員)

D B方式によりコスト縮減とありますが、D B方式について教えてください。また、コスト縮減の内容について詳しく教えてください。

(教育総務課長)

デザインビルド方式（DB方式）とは設計・施工一括ということで、基本設計を実施し、その後、詳細設計を行った後に工事を発注し、造成工事、建設工事を行うのが一般的ですが、デザインビルド方式にすることで実施設計をしながら工事を行うことで工期の短縮や、例えば基礎工事について、造成工事に引き続いて建設工事を行うことで土工の手間を省くことができるほか、事業者の経験によるコスト縮減の提案により事業費を縮減します。また、コスト縮減の内容ですが、校舎建築と造成工事の効率化、外壁・内装仕上げの検討や太陽光発電の面積縮減、部室・駐輪場を安価にする検討を提案していただいています。以上のことから約6億円の事業費縮減が見込めると考えております。

(委員)

事業者の選定について、何者か見込みがあるのですか。

(教育総務課長)

今回、㈱百五総合研究所に委託し、複数のゼネコンに対して基本設計での事業費積算の調査をしたところ、約60億円ならできるということで、今後は詳細な仕様書を作成して10月には公募し、多くの事業者に参加していただきたいと考えております。また、10月に公告して3月には事業者を決定するので半年ほどの期間しかなく、少しでも早くデザインビルド方式での実施を周知することで、多くのゼネコンが検討していただけるのではないかと思います。

(委員)

埋蔵文化財の調査について、試掘調査は終わっているのですが、発掘調査を行った際に文化財が出てきた場合は建設が駄目になることはありますか。

(教育総務課長)

試掘をした段階では文化財は出てきておりませんが、発掘調査をした際に出てこないことを祈ります。

(教育長)

その他、何かございますか。

(委員)

一中建設事業は是非とも推進していただきたいのですが、これから更なるインフレになる可能性もあり、株価や長期金利も上昇しており、また、税収も減る見通しで財政面では苦勞すると思われ、加えて南海トラフ地震や老朽化により改修工事をしなければならない状況になると、町民は第一中学校だけ建設事業を進めてその他の学校は改修工事をしてくれるのか心配するのではないかと思われ、40億円でも高額ですがこれが60億円になり更に財政面で厳しくなると、町民への理解を求める対応として、例えばプレスリリースや説明会をするとかあらゆる角度から町民への連絡、報告をした方がいいのではないかと思います。

(教育総務課長)

中長期財政見直しを見ると不安になるのではないかと思います。本来であれば安心できる資料であればいいのですが、人口や高齢化等の推計を基に算定した結果となっており、歳入は少なく見積もり、歳出は各公共施設の長期的な改修計画が投資的経費に含まれており、これらを見直し、投資的経費を減らす努力をしなければならないと考えております。

(教育長)

世界的な情勢により当初の計画より事業費が膨らんでおり、非常に危機を感じており、移転事業については膨らんだ事業費をいかにして圧縮するか、その方法の一つがデザインビルド方式であり、企業版ふるさと納税の検討を続けるなど、引き続き、取り組んで参ります。先ほど課長からも説明しましたが、町全体の施設の改修計画を見直す必要があります。学校施設整備基本構想では、将来の児童生徒数の推移を見極め、一中校区と二中校区の二極構造を推進していき、何十年後先では、二中と二中校区の小学校とが統合する形で新しい施設隣接型小中一貫校の創造を図ります。児童数の人口推移でいきますと令和20年度から令和25年度ぐらいと考えます。また、町全体として歳出事業の見直し、整理を実施し、歳入については跡地利用も含めて議論し、町民の皆様にご理解いただけるよう建設事業を進めていきたいと考えます。

(委員)

一中建設事業はどうなっているのかという声もあり、住民の方々に現状を報告する手段を考えていただけたらと思います。理解なくしてできることではないのでよろしくお願いします。

(教育総務課長)

今年度、都市計画決定・事業認可を受けることにより建設事業は進んで参りますので、住民の方にもわかるような形で周知を行う必要があると考えております。

・次回定例教育委員会日程について

(教育長)

次回定例教育委員会日程について、事務局お願いします。

(教育総務課長)

次回ですが、令和5年7月24日(月)午前9時30分から東員町教育委員会を開催することとしてよろしいか。

(全委員)

異議なし。

6 閉会の辞

(事務局長)

これもちまして、令和5年第6回東員町教育委員会を閉会いたします。